

2. 高齢者お達者プランの策定状況について

(2) 在宅介護実態調査について



加賀市健康福祉部長寿課

平成 29 年 9 月 7 日

在宅介護実態調査

目的	第7期介護保険事業計画の策定において、これまでの「地域包括ケアシステムの構築」という観点に加え、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点を盛り込むため、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスのあり方を検討することを目的とする。	
調査対象者	在宅で生活をしている要支援・要介護認定保有者 (ただし、施設等の入居者を除く)	
発送日	平成29年7月31日	(回収期間:8月31日まで)
発送数	2,023件(郵送方式)	
回収数	782件(回収率:38.7%) 8月25日現在	
調査項目数	27項目	
設問内容	【基本調査項目(国基準)】 <ul style="list-style-type: none"> ・世帯類型 ・サービス利用状況 ・介護保険サービス以外の支援やサービス利用状況 ・施設等への入居・入所の希望 ・家族等の介護の有無 ・介護者の就労制約の可否に係る意識 ・家族等介護者が不安に感じている介護 	【市独自項目(第6期との比較)】 <ul style="list-style-type: none"> ・同居の有無 ・介護者の主観的健康感 ・介護期間 ・介護者自身が良かった事や意識するようになったこと ・現在のサービスで不足していることや必要としている支援内容について
その他	回収後、認定情報と関連付け	

5つの検討テーマ

基本的な視点	検討テーマ
要介護者の在宅生活の継続	1)在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討
介護者の就労継続	2)仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討
支援・サービスの提供体制の検討	3)保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討
	4)将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討
	5)医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

⇒平成28年6月 厚生労働省が、7つの自治体で試行調査を行った。
上記5つのテーマに基づき集計分析を行っている



加賀市でも、第7期計画策定に向け、同様の調査を行い、比較・集計・分析を行う。

「在宅介護実態調査」

試行調査結果〔抜粋版〕

平成28年9月
厚生労働省

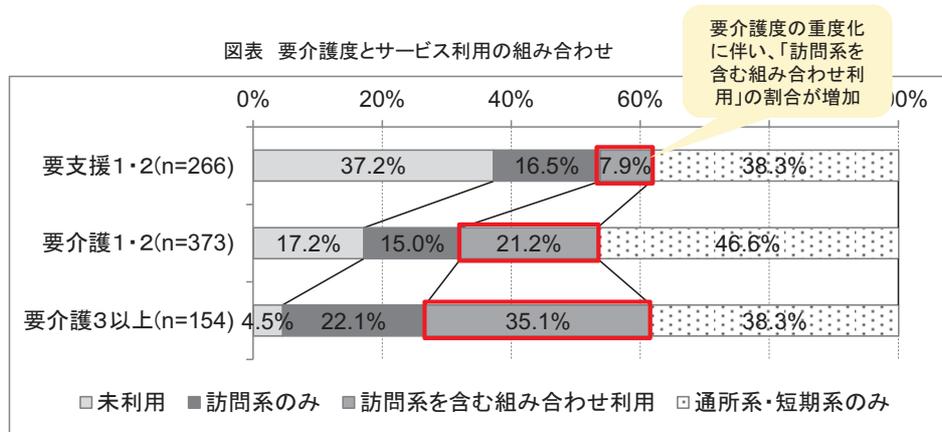
調査の実施概要

- 調査手法 : 認定調査員による聞き取り調査
- 対象地域 : 本試行調査は、稲城市（東京都）、大垣市（岐阜県）、秦野市（神奈川県）、八王子市（東京都）、府中市（広島県）、武蔵野市（東京都）、和光市（埼玉県）の7自治体で行った。
なお、集計結果は、7自治体の調査結果を全てまとめたもの。
- 回収票数 : 827票（※ただし、認定データと関連付けを行うことができた等、最終的な有効回答数は793票）
- 調査期間 : 平成28年6月の1か月間（※自治体ごとに調査期間は若干前後する）
- 調査対象 : 期間内に要支援・要介護認定の更新・区分変更申請に伴う認定調査を行った、居宅にお住まいの方（施設・居住系、入院を除く）
- 使用した調査票 : 介護保険最新情報（Vol.554）「「介護離職の観点も含めた介護サービスのあり方の把握方法等に関する調査研究事業」における試行調査について（情報提供）」参照

分析例1：在宅で生活をする、要介護度の高い人のサービス利用の特徴は？

要介護度の重度化に伴い、「訪問系」を組み合わせたサービス利用が増加

- 「要介護度」と「サービス利用の組み合わせ」の関係を見ると、要介護度の重度化に伴い、「訪問系のみ」と「訪問系を含む組み合わせ利用」の割合が増加している。
- 在宅で生活する要介護度の高い人については、「訪問系」を組み合わせたサービス利用割合が高いという特徴がみられる。



出典：在宅介護実態調査(試行)

〔用語〕

- ・「未利用」:「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」以外のサービスを利用していない方
- ・「訪問系」:(介護予防)訪問介護・(介護予防)訪問入浴介護・(介護予防)訪問看護・(介護予防)訪問リハビリテーション・(介護予防)居宅療養管理指導・夜間対応型訪問介護のいずれかを利用している方
- ・「通所系」:(介護予防)通所介護・(介護予防)通所リハビリテーション・(介護予防)認知症対応型通所介護のいずれかを利用している方
- ・「短期系」:(介護予防)短期入所生活介護・(介護予防)短期入所療養介護のいずれかを利用している方

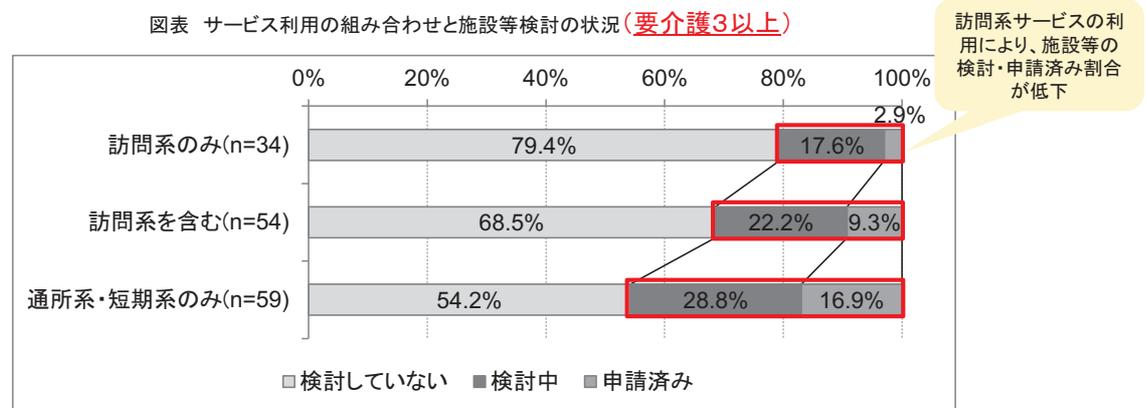
※「小規模多機能型居宅介護」・「看護小規模多機能型居宅介護」の利用者は、「訪問系を含む組み合わせ利用」に含めている。
(試行調査の中では、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の利用者はゼロであった)

2

分析例2：要介護度が重度化しても、施設入所を検討していない人のサービス利用の特徴は？

「訪問系」サービスを利用する方は、「施設等の検討・申請割合」が低い

- 「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係を見ると、「訪問系のみ」⇒「訪問系を含む」⇒「通所系・短期系」の順番で、徐々に「検討中」・「申請済み」の割合が高まる傾向がみられた。
- 要介護度が重度化しても、施設等でなく「在宅で生活を継続できる」と考えている人は、訪問系サービスを利用している割合が高かった。



出典：在宅介護実態調査(試行)

〔用語〕

- ※ 本集計・分析では、施設等検討の状況について、「入所・入居を検討していない(検討していない)」、「入所・入居を検討している(検討中)」、「すでに入所・入居申し込みをしている(申請済み)」の3つに分類して集計している。
- ※ なお、ここでの「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指すものであり、介護保険施設には限定していない。

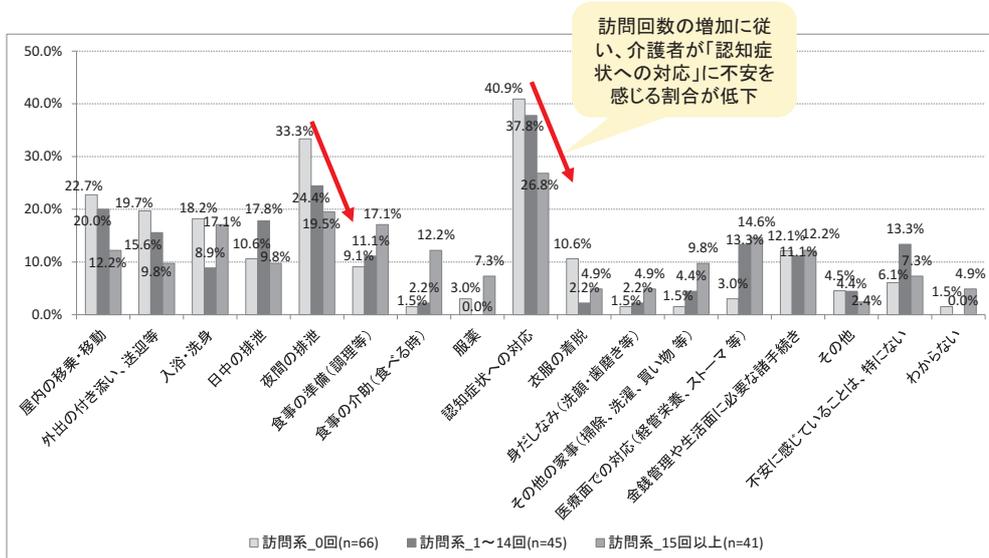
3

分析例3：頻回な「訪問系」サービスの利用は、介護者の不安軽減につながる？

「訪問回数の増加」に伴い、介護者の「認知症状への対応」「夜間の排泄」の不安が軽減

- 在宅生活の継続に向けて、介護者が不安に感じている介護としては、「認知症状への対応」と「夜間の排泄」が高い傾向がみられる。
- 「介護者が不安に感じる介護」と「訪問系サービスの利用回数」の関係を見ると、訪問系サービスの利用回数の増加とともに、「認知症状への対応」と「夜間の排泄」について、介護者の不安が軽減する傾向がみられる。

図表 サービス利用回数と介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）



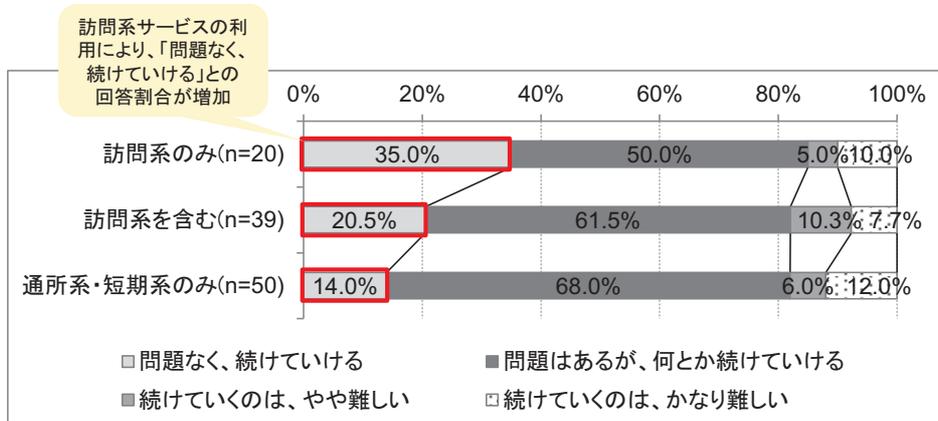
出典：在宅介護実態調査(試行)

分析例4：どのようなサービス利用が、就労の継続に向けた問題軽減に寄与している？

「訪問系サービスの利用者」では、介護者が就労を「問題なく、続けていける」との回答割合が高い

- 「サービス利用の組み合わせ」と「介護者の就労継続の可否に係る意識」の関係を見ると、「訪問系のみ」⇒「訪問系を含む」⇒「通所系・短期系」の順番で、徐々に「問題なく、続けていける」の割合が減少する傾向がみられた。
- ただし、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合計した割合については、サービス利用の組み合わせごとに大きな違いは見られなかった。

図表 サービス利用回数と主な介護者の就労継続の可否に係る意識（要介護2以上、パート+フルタイム就労）



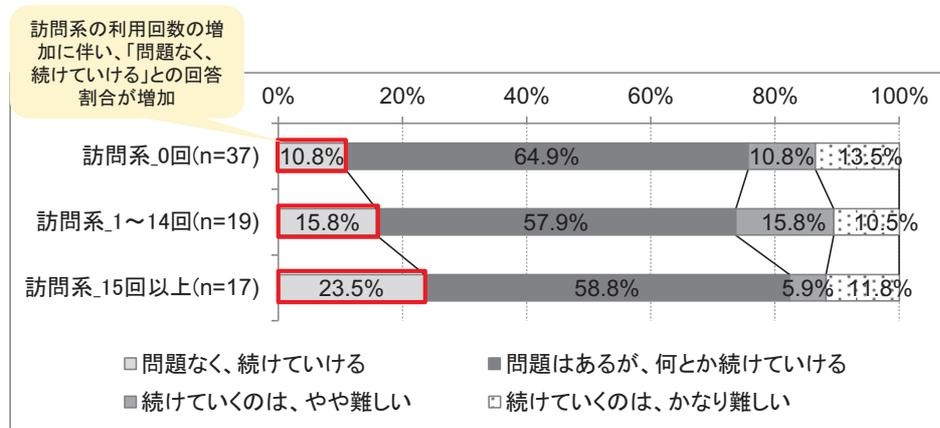
出典：在宅介護実態調査(試行)

分析例5：頻回な「訪問系」サービスの利用は、就労の継続に向けた問題軽減に寄与しているか？

「訪問回数の増加」に伴い、介護者が就労を「問題なく、続けていける」との回答割合が増加

- 「訪問系サービスの利用回数」と「介護者の就労継続の可否に係る意識」の関係を見ると、訪問系サービスの利用回数の増加に伴い、徐々に「問題なく、続けていける」の割合が高まる傾向がみられた。
- ただし、「続けていくのは、かなり難しい」の割合については、大きな違いは見られなかった。

図表 サービス利用の組み合わせと主な介護者の就労継続の可否に係る意識 (要介護2以上、フルタイム就労のみ)



出典：在宅介護実態調査(試行)

在宅介護実態調査 調査票

整理番号 9999-12345 67890

A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（複数回答可）

1. 調査対象者本人
2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. その他

問2 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ世帯
3. その他

問3 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問4 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）

1. 脳血管疾患（脳卒中）
2. 心疾患（心臓病）
3. 悪性新生物（がん）
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患（透析）
6. 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）
7. 膠原病（関節リウマチ含む）
8. 変形性関節疾患
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 難病（パーキンソン病を除く）
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）
14. その他
15. なし
16. わからない

問5 平成29年7月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか（1つを選択）

1. 利用した ⇒
2. 利用していない ⇒

- A票の問 10 で「2」～「5」を選択された場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いします。
- 「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様（調査対象者様）にご回答・ご記入をお願いします（ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です）

B票 主な介護者の方について、お伺いします

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問2 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他 |

問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代 | 5. 50代 | 6. 60代 |
| 7. 70代 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

〔身体介護〕

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助（食べる時） | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等） | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 12. 食事の準備（調理等） | 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|---------|-----------|
| 15. その他 | 16. わからない |
|---------|-----------|

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助（食べる時） | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等） | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備（調理等） | 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等） |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

- | | |
|-----------------------|-------------------------------------|
| 1. フルタイムで働いている | } <input type="text" value="問8へ"/> |
| 2. パートタイムで働いている | |
| 3. 働いていない | } <input type="text" value="問11へ"/> |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問8 問7で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか（複数選択可）

1. 特に行っていない
2. 介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問9 問7で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問10 問7で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

※ここから再び、全員の方にお伺いします。

問11 主な介護者との同居の有無について伺います。

1. 要介護者と同居
2. 要介護者と近距離な別居

↳ ① 同町内 ・ ② 市内

3. 要介護者と遠距離(市外)な別居
4. 同じ敷地内の別居
5. その他（ ）

問12 主な介護者の健康感は、主観的にどのような状態ですか

1. とても健康
2. まあまあ健康
3. あまり健康でない
4. 健康でない

問13 介護の期間はどれくらいですか

1. 3ヶ月未満
2. 3ヶ月以上～半年未満
3. 半年以上～1年未満
4. 1年以上～2年未満
5. 2年以上～3年未満
6. 3年以上～5年未満
7. 5年以上～10年未満
8. 10年以上～

問14 介護者どうしが話し合える座談会のような場面は必要だと思いますか

1. 必要だと思う
2. 必要だとは思わない

問 15 家族の介護を経験して、主な介護者自身が、よかったことや意識するようになったことはありますか（複数回答可）

1. 自分も含め家族の暮らし方を考えるようになった
2. 自分も含め家族の身体（健康）づくりを考えるようになった
3. 家族の結束が強くなった
4. 近所へのあいさつや手助け等できることをしようと思うようになった
5. 近所やまわりに頼れるようになった
6. 家族と過ごす時間がふえた
7. ほとんどない
8. その他（)

問 16 介護サービス事業所（ケアマネジャー、ヘルパー、デイサービス等）の職員は、主な介護者が困っていること、不安、求めていること等の話をよく聞いてくれますか。（1つを選択）

1. よく聞いてくれる
2. まあ聞いてくれる
3. あまり聞いてくれない
4. まったく聞いてくれない

問 17 要介護者が安心して在宅で生活を続けられるためには、現在の介護サービスで不足していることや、必要な支援がありますか。（複数回答可）

1. 夜間にも自宅でホームヘルプや看護が受けられること
2. 自宅に医師が訪問して診療してくれること
3. ふだん通っている介護拠点などで、希望すれば（緊急時含む）泊まれること
4. 入浴のみ、食事のみ、リハビリのみなど、短時間の通所でのサービスが受けられること
5. 要介護者の希望に応じて外出支援が受けられること
6. 担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）以外でも身近な場所での相談できる場所や人がいる
7. 家族がいないときの見守りや宅配での食事の提供があること
8. 近所の見守りや理解があること
9. 早朝・夜間の通所
10. 介護・福祉・医療の情報提供のしくみづくり
11. 主な介護者が介護しやすい職場環境
12. 介護者のための認知症について勉強ができる機会があること
13. 介護者同士の情報交換の場があること
14. その他（具体的に)
15. わからない

最後に、在宅介護に対する意見等があれば、ご自由にご記入ください。



実態調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

12 記入漏れがないか、今一度お確かめください。